

日東建設（雄武町）の技術、タジキスタンへ

JICA 中小企業海外展開支援事業で採択

国際協力機構（JICA）は、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において日東建設株式会社（北海道雄武町／久保 元 代表取締役社長）が提案する「コンクリートテスター（CTS）を用いた道路橋の点検技術、橋梁管理データ整備に関する案件化調査」（タジキスタン）を採択しました。

日東建設のコンクリートテスター（CTS）は、非破壊によるコンクリートの圧縮強度推定装置です。ハンマ内蔵のセンサーで打撃力を測定、データ解析することで、対象物の強度を簡便かつ高精度で測定できます。同社は北海道で培った技術・経験を元に、タジキスタンでの事業展開を図ります。



コンクリートテスター（CTS）



コンクリートの剥離がみられる現地の橋脚

タジキスタンでは道路インフラが適切に管理されてこなかったために、老朽化・劣化が著しく、人命にかかわる大事故につながりかねない状況です。加えて凍害など、北海道と共通する課題を抱えている同国で、同社の技術・経験の活用が期待されます。

本調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行うものです。企業は、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を行います。2012 年度から実施しており、2017 年度第 2 回分は今年 9 月に公示を行い、33 件を採択しました。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2017 年度第 2 回公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/press/2017/20171226_01.html

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 北海道国際センター（帯広） 担当：木村、林
TEL0155-35-1210 e-mail：Hayashi.Kana@jica.go.jp